

企画展「緊急延長！新たに寄贈された戦時下資料」出品目録

〔会期：平成28年10月22日(土)～平成29年1月15日(日)〕

No.	資料名称	年代	点数	寸法 (縦×横, cm)	備考	寄贈者
1	写真「高岡防空監視隊本部 第三班員」	昭和20年(1945) 4月	1	—	防空監視隊は、戦時下において敵機来襲の早期 発見(防空)のために設けられた組織	柳澤京子氏
2	富山県高岡監視隊本部 防空監視隊員指定書	昭和19年(1944) 2月8日	1	26.7×19.1	業務内容は、高岡監視隊本部の下にある県西部 10の防空監視哨よりの敵機発見通報を受け、東 京・大阪の本部へ通報するものであった	柳澤京子氏
3	戦時債券類	昭和15～19年 (1940～44)	7	—	戦争が拡大すると軍事費は膨大化し、それを賄 うため政府は増税や貯蓄奨励のほか、各種の戦 時国債を多発した	泉治夫氏・ 江畑聿英氏
4	青年学校帽子	昭和戦中	1	幅17.0× 奥行26.0× 高さ8.5	青年学校では、戦時中は男子に軍事訓練を施 し、女子は家事・裁縫を学んだ	徳田三郎氏
5	奉公袋	昭和戦中	1	33.4×22.8	兵士が入営の際に必要なものを入れておく ための袋	徳田三郎氏
6	「日満露支交通国境大地 図」	昭和10年(1935) 1月1日	1	78.3×109.5	当時の日本の領土ならびに租借地が赤色で示さ れており、大陸への進出の様子がわかる	望月保氏
7	陸軍士官用軍帽	昭和戦中	1	幅22.0× 奥行25.0× 高さ9.4	明治45年(1912)制式の陸軍下士官兵用の軍帽と 思われる	徳田三郎氏
8	陶製水筒	昭和戦中	1	26.0×15.8	戦時下には金属が供出され不足していたため、 生活必需品を陶器などで作った代用品の一つ	徳田三郎氏
9	海軍用飯缶・薬缶	昭和戦中	2	—	飯缶は、軍隊が米麦飯、汁、副菜などを入れて いたアルミニウム製の配食缶。薬缶の側面には 海軍の錨と桜のマークの刻印が入っている	江畑聿英氏
10	海軍1種予科練軍衣	昭和18年(1943)	1	着丈48.0× 裾丈67.8	予科練とは、海軍飛行予科練習生の略称。今の 中学生から高校生ぐらいの少年が多く入隊試験 を受験した	松本徳次氏
11	兵隊盃	昭和期	6	—	除隊した兵士がお祝いに配った除隊記念盃と、 日中戦争(支那事変)従軍記念に陸軍兵士へ贈 られた盃	—
12	『高岡市公報』	昭和17年(1942) 4月	2	—	第二次世界大戦中に高岡市役所より発行された 第241号と、衆議院議員総選挙に関する号外。 ともに戦争を奨励する標語などが掲載されてい る	—
13	『衆議院議員選挙事務提 要』	昭和17年(1942) 4月30日執行	1	24.6×17.5	衆議院議員選挙に向けて高岡市役所が発行した 冊子。準備事項や人員配置、投票所の設備略図 などが掲載されている	—
14	『翼賛の精神とその実践』	昭和17年(1942) 以降	1	21.4×15.0	高岡市翼賛壮年団の目標や実践項目などが記さ れている冊子。翼賛壮年団は青壮年による大政 翼賛会の外郭団体で、大政翼賛運動の実践部隊 として結成された	—
15	高岡市定塚国民学校新校 舎・奉安殿落成記念絵はが き	昭和16～17年 (1941～42)	4	—	奉安殿は、学校で天皇・皇后の写真である御真 影や教育勅語などを保管するための建物。定塚 国民学校では昭和17年に運動場の南隅に設けら れた	—
16	防火演習用バケツ	昭和戦中	1	高さ24.3× 径30.5, 底径21.0	太平洋戦争中、空襲に備え、地域での防火演習 で使用されていた。高岡市守山町伝来資料	若森征雄氏
17	日の丸寄せ書き	昭和19年(1944) 頃	1	72.0×88.0	右に大きく「祈武運長久」とあり、日の丸の周 りには23名の署名がある	若森征雄氏
18	鉄兜	昭和戦中	1	高さ15.6× 径28.8	形は大日本帝国陸軍で使用されていた「九〇 式」とよく似ているが、表面に星章がついてい ないため、それを民間用に転用したものと思わ れる。高岡市守山町伝来資料	若森征雄氏

No.	資料名称	年代	点数	寸法 (縦×横, cm)	備考	寄贈者
19	守山町戦時下各種腕章	昭和戦中	23	—	太平洋戦争中に使用されていたもので、町内会や家庭防護組合に関する様々な役職名が印字されている。8種	若森征雄氏
20	看板「待避所」(防火演習用)	昭和戦中	3	—	待避所とは防空待避施設(待避壕)のこと。地域の共同の防空待避施設の場所を示すためのものだったと推測される。高岡市守山町伝来資料	若森征雄氏
21	看板「空襲警報/警戒警報」	昭和戦中	1	149.0×45.3×厚さ1.1	それぞれの警報発令時や、地域での防火演習で使用されていた。高岡市守山町伝来資料	若森征雄氏
22	看板「守山町家庭防護組合事務所」	昭和戦中	1	122.8×20.3×厚さ2.1	太平洋戦争中に使用されていたもの。家庭防護組合は、常会(町内会・部落会)単位で結成された防護団の末端組織	若森征雄氏
23	木札「防空当番」	昭和戦中	1	30.2×10.2×厚1.0	家庭防護組合内での役割を示す表札のようなもの。高岡市守山町伝来資料	若森征雄氏
24	木札「守山町第二防護副群長」	昭和戦中	1	31.6×9.2×厚さ1.4	家庭防護組合内での役割を示す表札のようなもので、家庭の玄関先に掲げられていたという	若森征雄氏
25	防火演習用疑似焼夷弾	昭和戦中	2	—	おが屑を布でくるんで丸みをもたせ、布の裾を紐で縛ったもの。高岡市守山町伝来資料	若森征雄氏
26	警戒・空襲警報用吹き流し	昭和戦中	2	—	警戒・空襲警報の発令時に主に山間部への伝達手段として用いられていたほか、地域での防火演習の際に使用されていた。高岡市守山町伝来資料	若森征雄氏
27	防空頭巾	昭和戦中	1	幅53.0×奥行49.5×高さ56.0	空襲の戦火から身を守るための頭巾。町会、隣組名、氏名、血液型などを書いた名札が縫い付けられているものもある	飯野馨子氏
28	写真「現高岡市本町の防空訓練」	戦時中	5	—	現本町(戦時中は湊仲町、のち仲町)で撮影された。屋根の上までバケツリレーをしている	江畑聿英氏
29	写真「小杉町高岡市勤労報国歌隊解散式記念」	昭和17年(1942)4月17日	1	—	戦時下での労働力の確保が困難なため、一般国民である14歳以上40歳未満の男子、14歳以上25歳未満の未婚の女子による勤労報国歌隊を編成し、総動員業務に協力させた	江畑聿英氏
30	日露戦没叙勲 記章・授与状	明治期	6	—	日露戦争で戦死した陸軍歩兵上等兵に贈られた勲八等白色桐葉章	島寿男氏
31	弔辞	明治38年(1905)10月9日	3	—	日露戦争で戦死した陸軍歩兵上等兵と陸軍歩兵一等卒への弔辞	島寿男氏
32	日清戦争記念記章・授与状	明治28年(1895)	2	—	日清戦争の凱旋記念として、陸軍輜重輪卒に贈られている	島寿男氏
33	支那事変記章・授与状	昭和戦中	2	—	授与状は、支那事変の功により勲八等瑞宝章を贈ったものである	島寿男氏
34	愛国婦人会通常会員章	戦時中	1	3.4×2.7	上部の細長い部分の裏には「半襟/一掛」とあり、これは当初、半襟を一掛節約して会費を出し合い、それを弔慰金として寄贈することを主事業としたことからきている	島寿男氏
35	大日本国防婦人会「誉之家」木札	昭和戦中	1	24.0×9.4×厚さ1.6	大日本国防婦人会福岡町分会が出征兵士のいる家庭に贈った木札で、玄関に取り付けられた	島倉栄吉氏
36	「陸軍特別大演習宿舍便覧」附 高岡案内・高岡市街図	大正13年(1924)11月1日	1	27.1×39.2	高岡市役所発行。高岡市内の陸軍司令部と本部の場所が掲載されている	高橋君江氏
37	報国経済週間標語「正しい値段で明るい奉公」	昭和戦中	1	26.5×9.1	詳細は不明だが、物資不足の中、不当な価格での販売を禁じる国策の一環と思われる	高岡市立中央図書館
38	十銭普通切手「敵国降伏」	昭和20年(1945)4月1日	10	—	印刷局発行。福岡宮崎宮楼門にある勅額が描かれており、これは郵政当局による戦意発揚・戦勝祈願のための図柄公募の入選作品である	藤本一夫氏

※資料はすべて当館蔵。資料保存のため、一部展示替えをすることがあります。写真・複数資料の寸法は割愛しました。

計 38件102点